**おかやまの農林水産業　５年生　活用例　「わたしたちの生活と森林」**

1. **活用のポイント**

国土の環境，森林資源が果たす役割について，教科書の事例地域と岡山県で比べることができる。

○岡山県の森林の様子　　　　　○岡山県で育てている林産物

○林業の１年間　　　　　　　　○これからの林業　　　　　（P.46～52）

**２．単元計画**

第１時　日本の森林の広がりの様子をつかむ。

第２時　森林と私たちの生活とのかかわりについて話し合い、学習問題をつかみ、計画を立てる。

学習問題　森林と私たちの生活にはどのようなかかわりがあるのだろう。

第３時　天然林にはどのような働きがあるかを調べる。

**第４時　人工林にはどのような働きがあるかを調べる。**

第５時　森林にはどのような働きがあり，森林資源はどのように利用されているのか調べる。

第６時　森林の働きと私たちの生活とのかかわりをまとめ、学習問題を解決する。

**３．展開例　第４時**

1. 前時までの学習を振り返り，本時のめあてを確かめる。

人工林にはどのような働きがあるのか調べよう。

1. 教科書やおかやまの農林水産業で，林業について調べる。

・森林の木が木材になるまでのながれ　　・林業で働く人々の工夫や努力

・林業がかかえる課題　　・林業の機械化

1. 林業で働く人々の工夫や努力について話し合う。

・植林した後も間伐や下草がりをするなど、長い年月を通してよい木材を作るためにたくさんの工夫や努力をしている。

・木を植えたり、手入れをしたりしながら森林資源を守っている。

・木材は住宅や家具だけでなく、発電のための燃料などにも活用されている。

・林業で働く人々の数は著しく減ってきている。

1. これからの林業について話し合う。

・機械化が進んだり、林道を整えたりすることで大変な仕事も取り組みやすくなり、林業で働く人の数が増えたりしないだろうか。

・岡山県ではコンテナ苗という方法で育てることで、生育がよくなったり、作業の負担が軽くなったりしている。

1. 本時のまとめをする。

人工林の木材は家や家具など生活に大きく関係していた。林業にかかわる人は大変だけれど、様々

な工夫をしながらよい木材を作ろうと努力している。

**４．その他**

第４時では「林業の機械化」の動画を視聴したり、コンテナ苗の例を調べたりすることで、林業に携わる人々が持続可能な林業の在り方を模索している状況を考えることができる。第６時のまとめの後半において自分たちにできることを考える場面で、教科書の内容に加えて52ページの岡山の県民参加の事例を取り上げることで、身近な場所でも取組が行われていることを実感することができる。